

100年前の災害教訓を永く伝えます

～自然災害伝承碑と関東大震災～

令和5年7月28日
国土地理院
応用地理部 地理情報処理課

自然災害伝承碑とは

- ◆ 過去に発生した自然災害（洪水、土砂災害、高潮、地震、津波、火山災害等）の様相や被害状況等が記載されている石碑やモニュメント
- ◆ 当時の被災場所に建てられていることが多い
- ◆ 令和元年6月からウェブ地図「地理院地図」で公開（令和元年9月から2万5千分の1地形図に掲載）
- ◆ 取組を通じて、地域住民の防災意識向上に貢献



地理院地図
(自然災害伝承碑を表示)

概要	
碑名	大震災遭難者供養塔
災害名	関東大震災 (1923年9月1日)
災害種別	土砂災害・地震
建立年	1929
所在地	神奈川県横須賀市汐入町2-10(港町公園)
伝承内容	大正12年(1923)9月1日に発生した関東大震災は、今までにない大災害となった。横須賀市も震災の被害を免れることはできず、至る所で悲惨な状況が見られ、横須賀市の犠牲者は517名であった。碑は昭和11年(1936)に現在地へ移転され、付近には遭難者名碑、大震災遭難追善地蔵尊がある。

ID:14201-002

大震災遭難者供養塔（神奈川県横須賀市）

大正12年関東大震災つゆみ浸水地点
災害名: 関東大震災
(1923年9月1日)

元禄地震津波供養塔(行蓮寺)
災害名: 寛永小田原地震
(1633年3月1日)
元禄地震
(1703年12月31日)

とまた留田
42.9

宇佐美

静岡県伊東市宇佐美は、元禄地震と大正関東地震で津波の被害がありました。

津波浸水想定（想定最大規模）と自然災害伝承碑の位置

整備するきっかけ：「平成30年7月豪雨」

- ◆ 広島県坂町では、過去の大水害の被災状況を伝える石碑が現地に建立されていたものの、地域住民にその内容が十分に伝承されていなかった。過去の自然災害の教訓を適切に伝承するとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減をめざし、国土地理院で情報の整備と公開を開始した。



撮影：大阪府警察

概要	
碑名	水害碑
災害名	洪水・土石流 (1907年7月15日)
災害種別	洪水・土砂災害
建立年	1910
所在地	広島県安芸郡坂町小屋浦 四丁目
伝承内容	明治40年(1907)7月15日、数日来降り続いた豪雨により天地川や総頭川で土石流が発生した。この未曾有の大災害により、小屋浦地区では43戸の家屋がつぶれ、44名の命が奪われた。 関連外部サイトへのリンク集

ID:34309-002

https://maps.gsi.go.jp/#15/34.303431/132.512145/&base=std&ls=std%7Cdiasaster_lore_all&disp=11&lcd=disaster_lore_all&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1&d=m

【水害碑（広島県坂町）の伝承内容】

明治40年（1907）7月15日、数日来降り続いた豪雨により天地川や総頭川で土石流が発生した。この未曾有の大災害により、小屋浦地区では43戸の家屋がつぶれ、44名の命が奪われた。

<地理院地図での表示イメージ>

<公開している情報>

- ① 碑名
- ② 災害名
- ③ 災害種別
(災害の種類)
- ④ 建立年
- ⑤ 所在地
- ⑥ 伝承内容
(100字程度に要約)
- ⑦ 写真



自然災害伝承碑のページはこちら↓

<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>



「地理院地図で見る」をクリックすると地理院地図画面に遷移します。

<自然災害伝承碑掲載までの流れ>

◆ 市区町村→国土地理院へ申請を行う

※地方自治体と連携し、地域の防災力向上を目指す。

学校の授業で調査した石碑が、市町村と連携して自然災害伝承碑として登録された事例も。

①掲載希望の連絡（市区町村→国土地理院）

※事前に申請内容を相談する

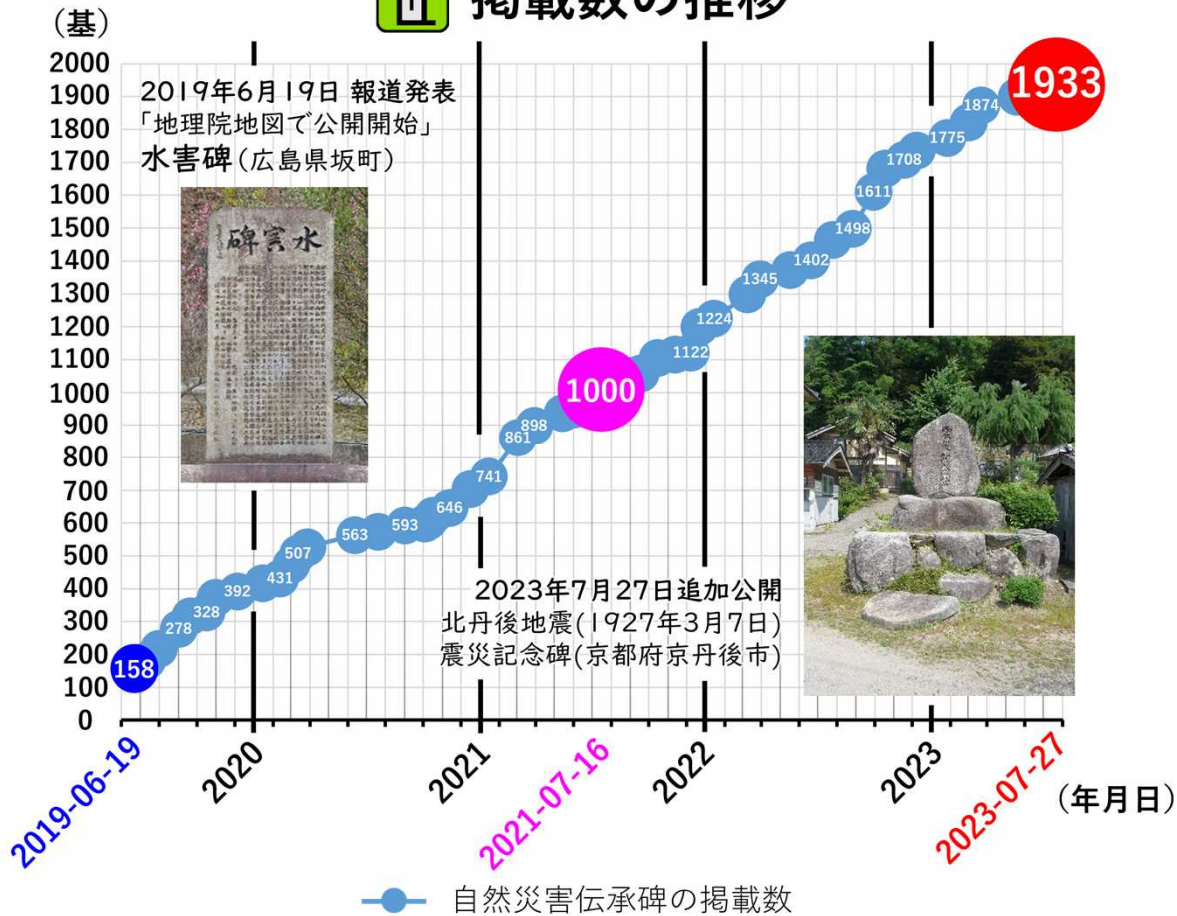
②掲載申請書、申請調書を作成（市区町村）

③現地写真の準備（市区町村）

④申請書類、写真データの提出（市区町村→国土地理院）

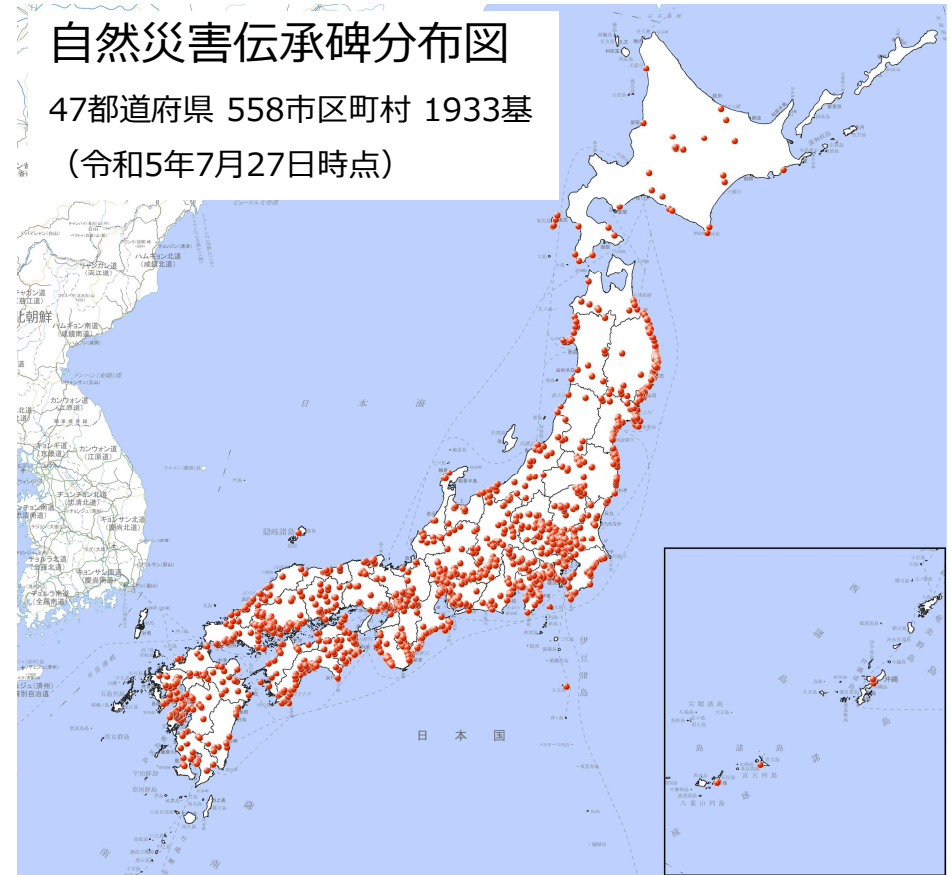
⑤申請のあった情報を取りまとめ地理院地図を更新（月1回程度）

掲載数の推移



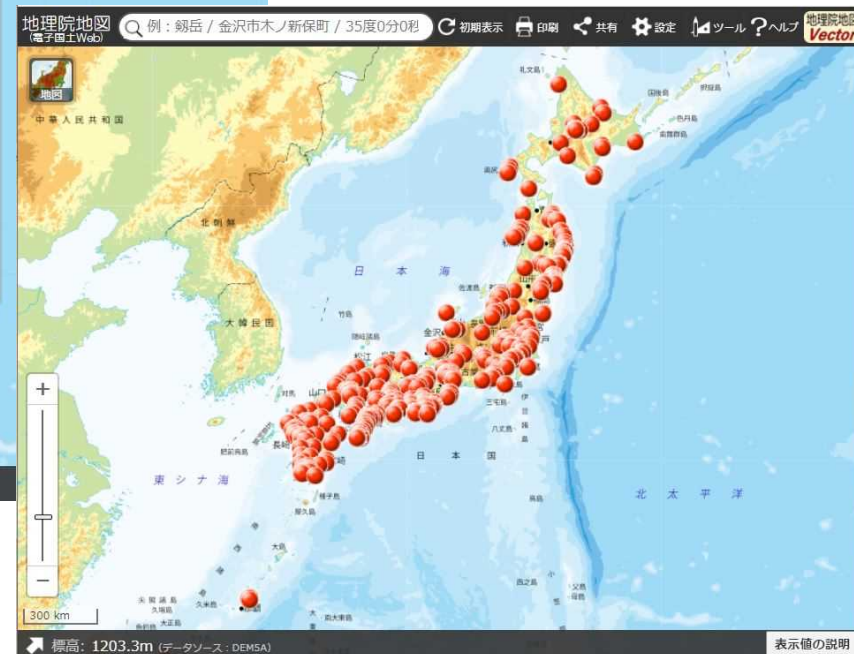
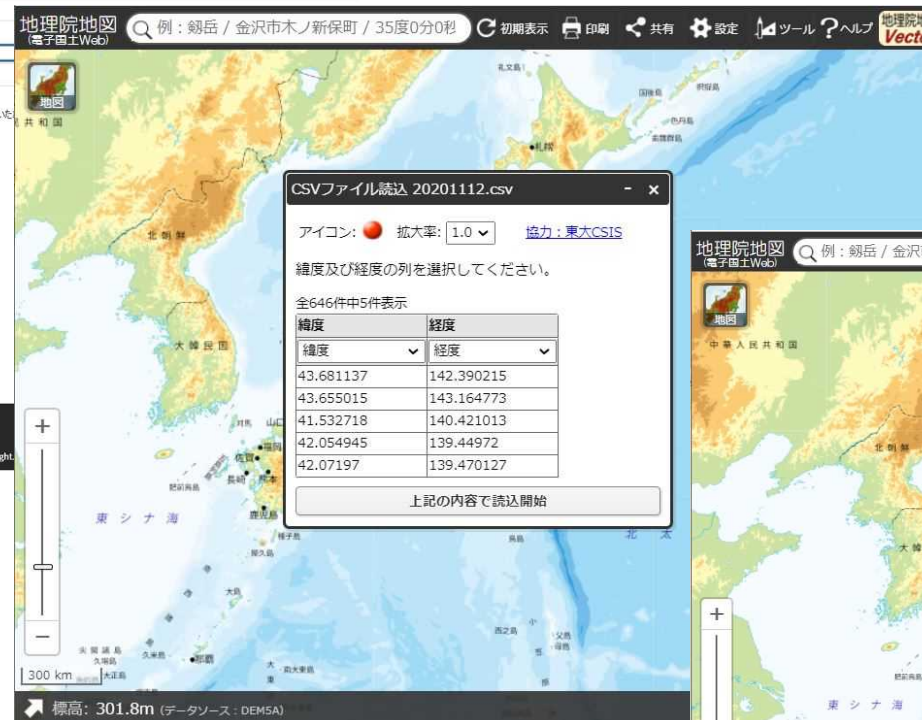
自然災害伝承碑分布図

47都道府県 558市区町村 1933基
(令和5年7月27日時点)



<ダウンロード提供の開始>

- ◆ 自然災害伝承碑の更なる認知度向上・活用促進を図るため、データのダウンロード提供（CSV・GeoJSON形式）を令和2年8月に開始



自然災害伝承碑のデータダウンロードはこちら↓

https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_download.html



自然災害伝承碑データの活用方法

<csvデータの活用例：関東大震災に関連する自然災害伝承碑を地図で表示する。>

<作成方法>

- ①自然災害伝承碑データ（csv形式）を以下のページからダウンロードする。
- ②ダウンロードしたデータの災害名に着目し、関東大震災のデータを抽出する。
- ③地理院地図に②で抽出したデータを取り込み、淡色地図などに重ね合わせる。
データを取り込む方法については、以下のページを参照してください。

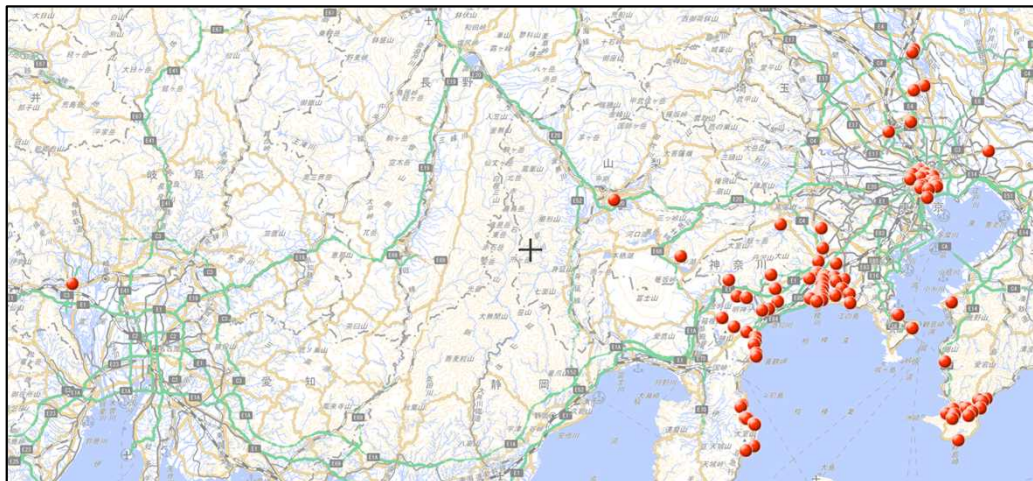
<https://maps.gsi.go.jp/help/intro/kinolist/7-sakuzu.html>



②自然災害伝承碑データ（csv形式）（一部抜粋）

ID	碑名	建立年	所在地	災害名	災害種別	伝承内容	緯度	経度
11100-00	震災記念碑	1924	埼玉県さい	関東大震災(1923年9月1日)	地震	大正12年(35.8335	139.63
11100-00	八丁の水神	1929	埼玉県さい	関東大震災(1923年9月1日)	地震	水神社は、	35.8623	139.714
11214-00	関東大震災	1927	埼玉県春日	関東大震災(1923年9月1日)	地震	大正12年(35.9704	139.763
11214-00	記念碑	1928	埼玉県春日	関東大震災(1923年9月1日)	地震	大正12年(35.9572	139.724

③自然災害伝承碑の分布図（災害種別）のイメージ



●…関東大震災関連の自然災害伝承碑 7

<学校における学習教材としての活用>

神奈川県立大磯高等学校

- ◆ 神奈川県立大磯高校では、史資料を交えて、関東大震災をテーマとした地域学習の授業が展開された。その中で、関東大震災の被害や教訓を伝える題材の一つに自然災害伝承碑を取り上げ、生徒が地域の被災状況や人々が何を残そうとしたのかをまとめるレポート課題が出された。
- ◆ 日本史探究の手がかりとしても、自然災害伝承碑を利用することが模索されている。

GOOD!

○ 日付・天気 ... 12月23日(金), 晴れ

大震災歿死者供養塔

○ 所在地 ... 神奈川県平塚市札幌町15-42 長楽寺

○ 建立年 ... 1925年

○ 伝承碑に書かれている碑文

正面 ... 大震災歿死者供養塔

左側の面 ... 須馬村 歿死者浴名
一段に5名ずつの氏名
全て縦書きで計75名の氏名(省略)
(中那須馬村は後に須馬町となり、平塚市に編入して廃止)

右側の面 ... 1929年4月1日

→ 大正十二年九月一日関東大地震アリ
一府四廳未曾有ノ惨禍ヲ受ケ東京横浜横浜須賀
小田原等皆断ケ其他ノ各地地被害甚大當村ハ
家屋倒潰壓死者六十餘名ヲ出ス
此惨害ハ一朝ニシテ數十萬ノ生民ト數十億ノ財産ヲ奪ヒ
去リ實ニ悲痛ノ極ニ達セリ
茲ニ歿死者ノ三回忌ニ當リ供養塔ヲ建設シテ永遠ニ
紀念シ回向スルモノナリ

大正十四年九月一日 發願者 長楽寺 第二十五世金剛精辨

○ おおまかな内容

- ① 今までに経験したことの無いような大震災が発生し、当村では60余名の圧死者を出したこと。
- ② 三回忌にあたり供養塔を建設したこと。
- ③ 供養塔は震災を永遠に記念し、歿死者を回向するたためであること。

※ 一の数が異なるのは村外での死者が含まれている可能性がある。

○ 須馬村

→ 総人口約7384人(1920年)

赤の枠線内が須馬村にあたる。

★ が伝承碑の位置

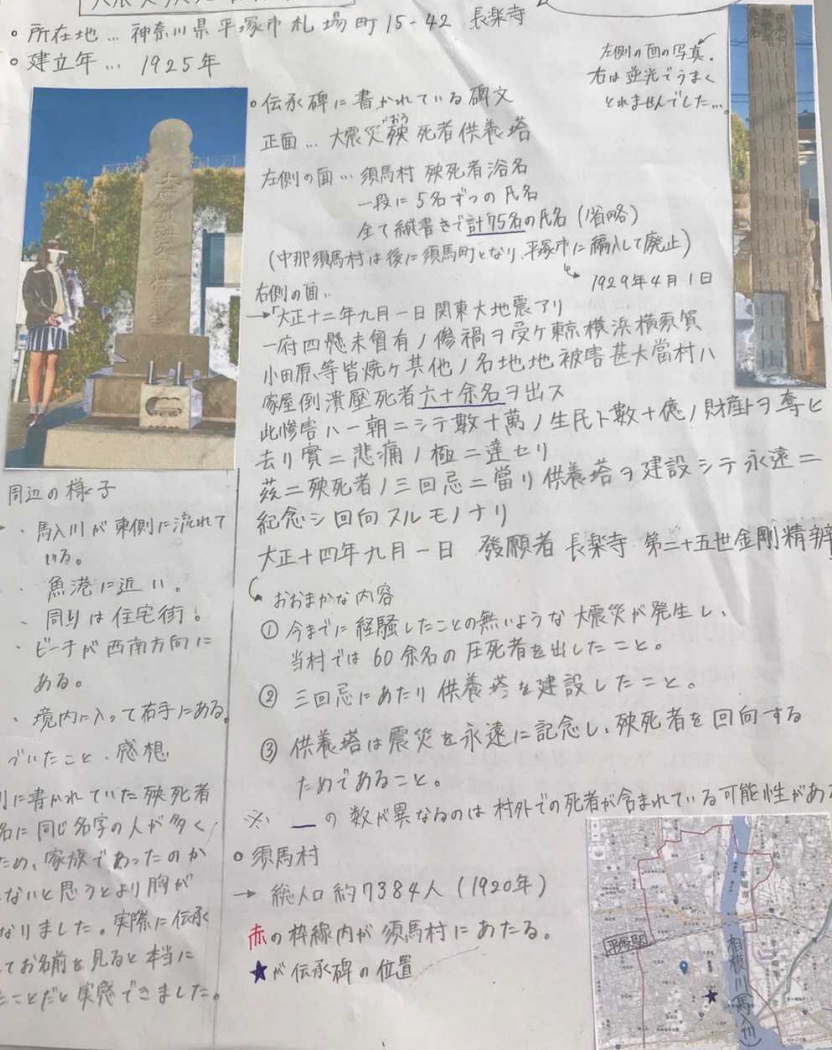
左側の面の写真。右は逆光でうまくとれず白くした...

○ 周辺の様子

- 馬入川が東側に流れている。
- 魚港に近い。
- 同様に住宅街。
- ビーチが西南方向にある。
- 境内に入ると右手にある。

○ 気がいたこと・感想

左側に書かれていた歿死者の氏名に同じ名前の人が多くいたため、家族であったのかもしれないかと思つた。実際に伝承碑を見てお名前を見るときに起こったことだと実感できました。



自然災害伝承碑の活用事例はこちら↓



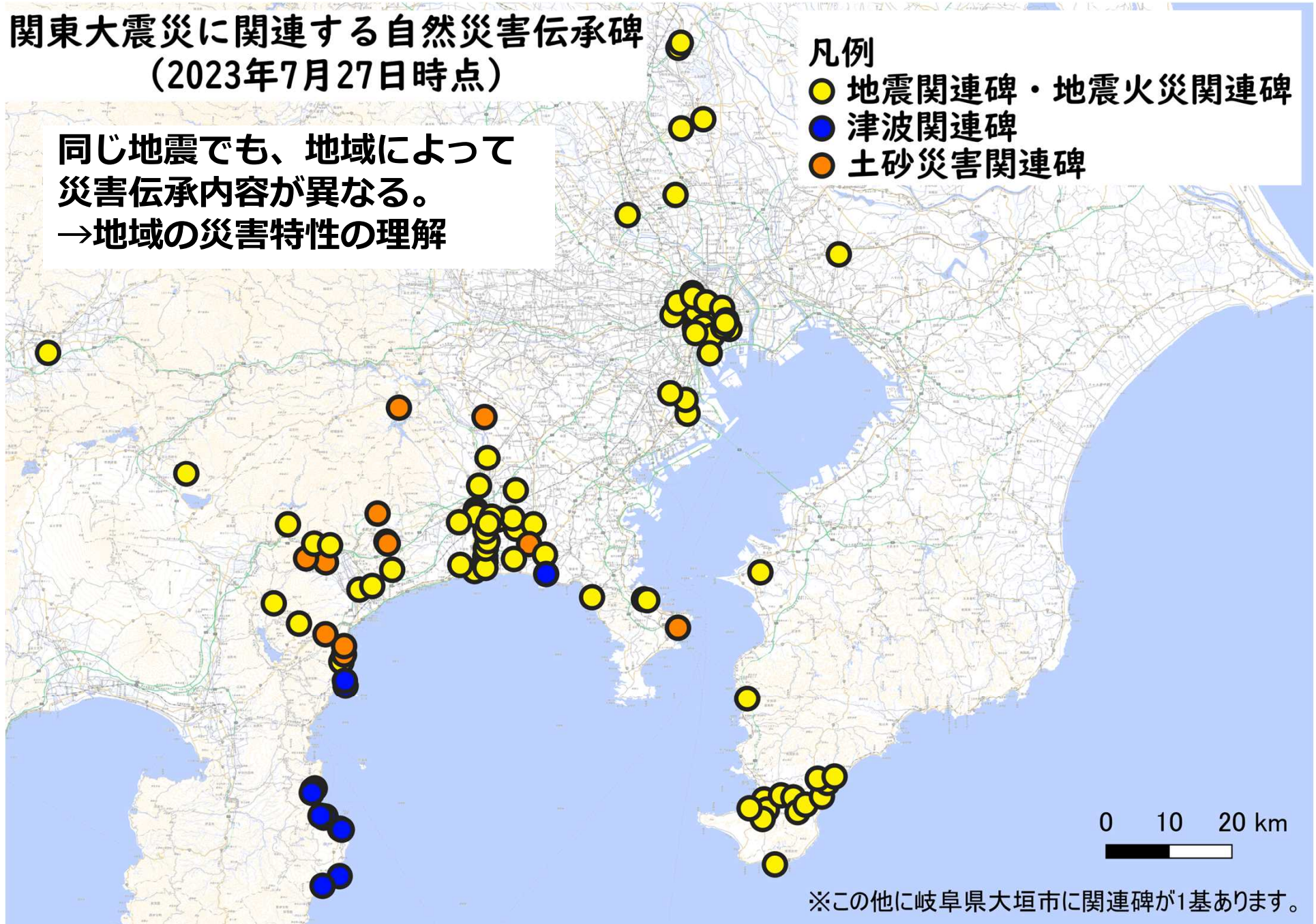
関東大震災と自然災害伝承碑

関東大震災に関連する自然災害伝承碑 (2023年7月27日時点)

同じ地震でも、地域によって
災害伝承内容が異なる。
→地域の災害特性の理解

凡例

- 地震関連碑・地震火災関連碑
- 津波関連碑
- 土砂災害関連碑



※この他に岐阜県大垣市に関連碑が1基あります。

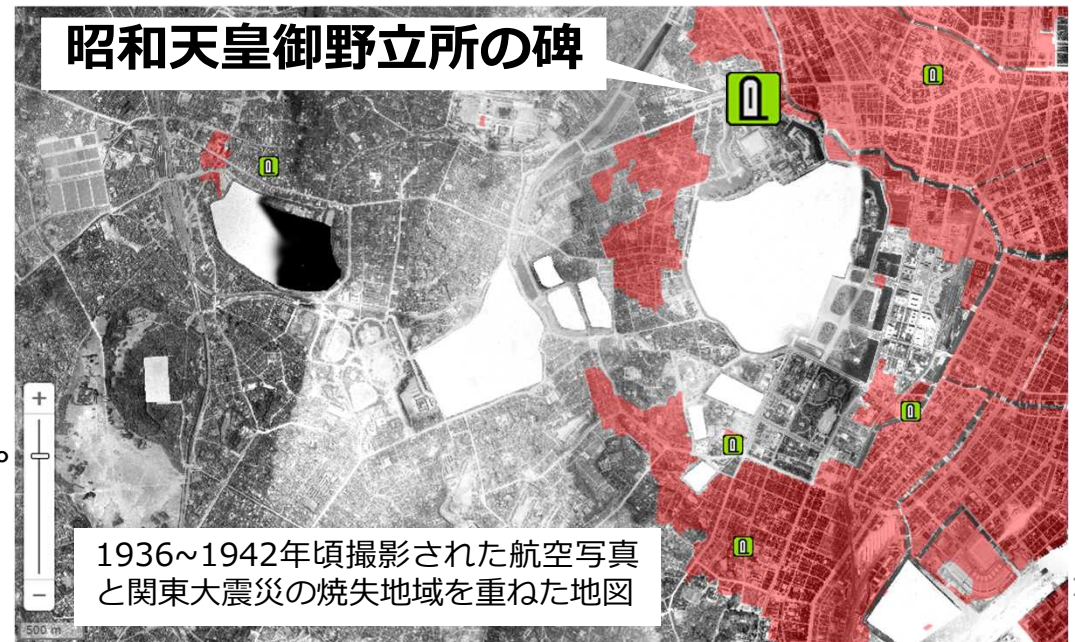
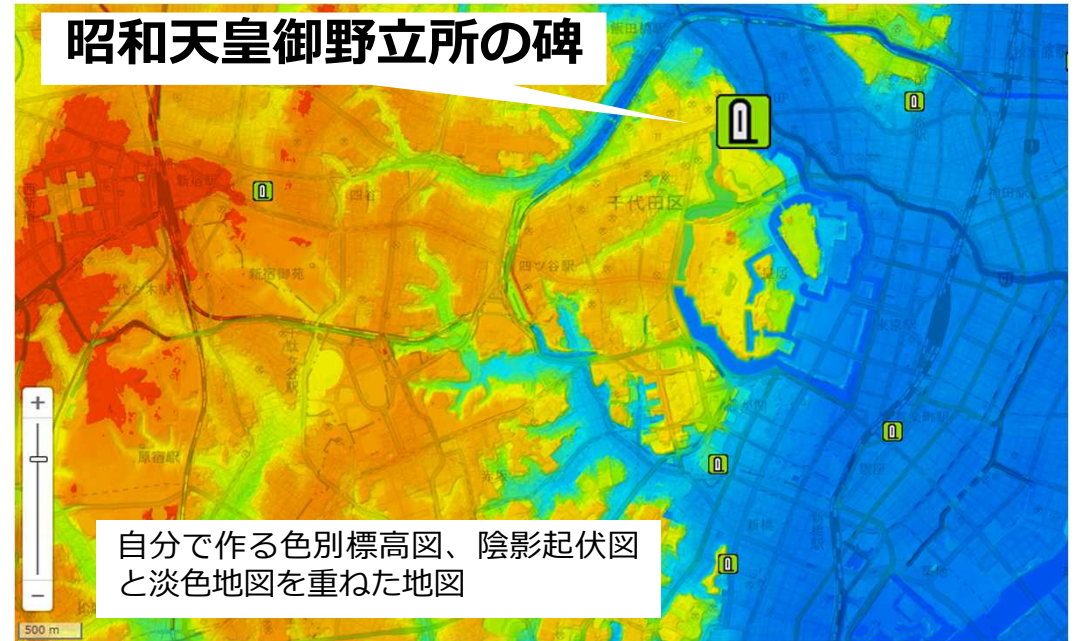
<昭和天皇御野立所（おのだてしよ）の碑>

昭和天皇御野立所の碑

概要	
碑名	昭和天皇御野立所の碑
災害名	関東大震災 (1923年9月1日)
災害種別	地震
建立年	不明
所在地	東京都千代田区北の丸公園1番
伝承内容	大正12年(1923)9月1日の関東大震災は死者10万人を超える大災害で、遷都の噂が流れるほどであった。この地は昭和5年(1930)、復興祝賀式典の前々日に下町一帯の復興状況を視察された昭和天皇が最初に立ち寄った場所。当時はここから東京湾まで見通すことができた。風化により平成元年(1989)再建。



ID:13101-004



昭和天皇（震災当時は摂政宮として災害対応に当たった）が、復興状況を視察するために立ち寄った場所に建てられた伝承碑。当時は東京湾まで見通すことができたというが、本当なのか。

→地理院地図で見ると、台地の端に位置している。さらに、下町と呼ばれる低地に広がる焼失区域もよく見えることから、復興状況を観察するにはうってつけの立地だった。

- ◆ 自然災害伝承碑に記された碑文等の情報は、過去の災害により自らの身に起きた出来事を現在の我々に伝えんとする先人たちの貴重なメッセージである。
- ◆ 本取組は、そのメッセージを電子地図や地図記号の形とすることで、風化させることなく過去の教訓を後世に分かりやすく伝え続けるものである。
- ◆ 防災教育等での教材としての活用などを通じて、住民の防災意識、ひいては災害時における自助力向上に寄与できるものである。
- ◆ 自然災害伝承碑は防災の観点のみならず、地域の理解を深めるツールとして、有用なものである。

自然災害伝承碑を地理院地図で見る→



昭和天皇と関東大震災（動画資料）

『関東大震大火実況』

国立映画アーカイブ「関東大震災デジタルアーカイブ」より
<https://kantodaishinsai.filmarchives.jp/movies/m01.html>



『帝都復興』

国立映画アーカイブ「関東大震災デジタルアーカイブ」より
<https://kantodaishinsai.filmarchives.jp/movies/m13.html>

